

令和4年度署救急訓練効果確認を実施

武蔵野消防署

当署では、令和4年7月上旬に令和4年度署救急訓練効果確認を実施しました。今回の効果確認では、「50歳の男性が自宅トイレ内で意識・呼吸なし」という想定のもと、PA連携の活動要領や救急隊が行う特定行為（抹消静脈路確保による輸液及び薬剤投与・LTSを用いた気道確保）の確認を実施しました。

訓練会場には、署員のほか、災害時支援ボランティア、職場体験の中学生が見学に来ており、普段は見るできない救急現場の活動を、ときに席を立ち、近づいて真剣なまなざしで見っていました。

各隊は現場さながらの緊張感をもって日頃の訓練成果を発揮しました。

